

建物の木部は保護塗料でメンテナンス

基本は町並みに調和する黒や黒かっ色



歴史的な町並み保存運動の先駆けとして知られる木曾路の宿場町、妻籠(つまご)。昭和40年代以降、独自に定めた住民憲章に基づいて、「保存最優先」の姿勢で町並みの修復や維持に努めてきた。江戸末期から明治期にかけての時代をしのばせる、落ち着いた町並みは、どのように修復・維持されてきたのか。南木曾町教育委員会文化財財並係 向井 裕明氏にお聞きした。

南木曾町教育委員会 文化財財並係 向井 裕明氏

—町並み保存活動はどのような経緯から始まったのですか。

向井 ● 妻籠は日本で最初の公民館が出来た地域で、昭和20年代以降、公民館活動が盛んでした。それが下地になって、地域の古民具を保存する活動に取り組んでいた住民が保存の対象を町並みにまで広げていきました。

昭和43年には、長野県が実施した明治100年記念事業の一環として、寺下地区の建物が修理・復元されました。町並み保存活動に取り組んでいた住民はこの事業を通じて保存の実際を学ぶ一方で、保存推進に向けた組織として「妻籠を愛する会」を立ち上げました。

妻籠を愛する会ではその後、「売らな

い」「貸さない」「こわさない」を原則とする住民憲章を独自に定めました。昭和40年代半ば以降、観光客が増えてきたものの、観光だけを考えると妻籠の良さがなくなってしまうという危機感から、保存をすべてに優先させるという考え方を打ち出しました。

重要伝統的建造物群保存地区 国から第一号の指定を受ける

妻籠宿では現在、江戸末期から明治期にかけて建造されたとみられる建物を中心に、約220棟を伝統的建造物に定めています。最も古い建物は、200年近く前のものとみられています。

—昭和51年には国の重要伝統的建造

物群保存地区第1号に指定されました。

向井 ● 妻籠宿は歴史的な町並みとして2つの特徴を持っています。一つは全国の先駆けであること、もう一つは広域に及ぶことです。

街道沿いの町並みとはいえ、その景観は周囲の自然まで含めたものです。宿場町とはいえ、周囲の農村集落もその成り立ちを支えてきました。こうした考えから、重要伝統的建造物群保存地区には周囲の自然や農村集落まで含めることにしました。地区の面積は約1245haで、全国すべての地区の面積を合計した4割ほどを占めています。

—町並み保存にはどのような仕組みの下で取り組まれていますか。

向井 ● 町では町並み保存に向けて、建物を現状変更しようとする場合に必要となる手続きを条例で定めたり工事費の一部を補助したりしています。

現状変更は「愛する会」に届け出て替えは原則、許可されない

例えば建物の現状を変更する場合は、条例に基づいて「妻籠を愛する会」にその内容を届け出ます。「愛する会」では組織内に置く統制委員会でその是非を審議し、結果を教育委員会に伝えます。教育委員会ではそれをもとに、許可・不許可を決めます。修理・復元は許可されますが、保存物件は原則的に建て替えは認められていません。届け出は年間70~100件程度です。

—木部の保護は、条例上、どのように扱われますか。

向井 ● 木部の保護にはかつては、クレオソートやコールタールがよく使われていました。最近では、いい木材保護塗料が出て来ています。建物所有者は塗り替え時期や使用する塗料に関して、妻籠を愛する会や地元の大工に相談したうえで決めているようです。

もちろん、保護塗料の塗り替えも建物の現状変更に当たるので、条例に基

「妻籠宿を守る住民憲章」

昭和46年7月25日宣言(抜粋)

- 1. 目的(略)**
- 2. 保存優先の原則**
保存をすべてに優先させるために、妻籠宿と旧中山道沿いの観光資源(建物・屋敷・農耕地・山林等)について、「売らない」「貸さない」「こわさない」の三原則を貫く
- 3. 保存区域(略)**
- 4. 外部資本から妻籠宿を守るために(略)**
- 5. 地域住民が自らを守るために(略)**
- 6. 風致を保全するために**
 - ① 宿場内と旧中山道沿いの景観をそこなうような行為をしてはならない。
 - ② 広告、看板並びに一般ポスター、政治活動用ポスター(選挙運動期間中を除く)等は掲示してはならない。
- 7. 環境整備をするために**
 - ① 宿場内の静寂を保つため、物売り、宣伝、車両等による騒音を発してはならない。
 - ② 旅館、民宿、土産品店等は、午後10時までに閉店する。
 - ③ 衛生思想の高揚を図るため、宿場内と沿道の清掃ならびに関係機関による食品衛生指導などを定期的に実施する。
- 8. 防火態勢を確立するために(略)**
- 9. 防犯態勢を確立するために(略)**
- 10. 交通安全を図るために(略)**
- 11. 町・県・国に対して(略)**

この憲章を履行するため「妻籠を愛する会」に別に定める要綱により統制委員会を設けて推進する。

づく届け出の対象です。届け出を受けた妻籠を愛する会の統制委員会では、色の良しあしを審議します。よりどころにするのは、住民憲章です。この中では、風致を保全するために「黒または黒かっ色を使用すること」とうたわれています。

—将来の課題としてどのような点を意識されていますか。

向井 ● 高齢化が進んで空き家が増えていくと、町並み保存に向けて現行の条例で問題ないのか心配です。住民憲章の理念が損なわれていく恐れがあるからです。空き家を活用していくにしても、所有者の身内や妻籠にゆかりのある人などと利用者を絞り込むことで、住民憲章の理念を将来にわたっても引き継いでいけるようにしたいと思います。

木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社



キシラデコール

JASS18 M-307 適合品



消費者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用実証調査アンケート調査
2020年10月28日発行



キシラモン

販売販売
日本エンバイロケミカルズ株式会社
東京都 阿佐橋町 2-1-1
TEL: 03-5444-9872

大阪 〒541-0051 大阪市中央区備後町三丁目6番14号 アーバネットクス備後町ビル TEL: 06-6268-3428
東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 TEL: 03-5444-9872 FAX: 03-5444-9960

【キシラデコールに関する情報満載! ▶ www.xyladecor.jp】

第4回 木質建築空間デザインコンテスト 開催決定! <http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/special/wood/>



左 / 1968年、町並みの中で最初に修復された寺下地区。長野県の明治100年記念事業の一環として実施された。江戸末期から明治期にかけての建物を中心に構成されている。
上 / 街道沿いの建物の多くは木部を露出させている。町並み保存に向けた仕組み上、木部の保護に関して定められているのは色だけで、基本は「黒」「黒かっ色」。町並み全体の調和を重んじて、黒かっ色系の古色塗りや塗装されており、明るめの色を使用している部分はまず見られない。